

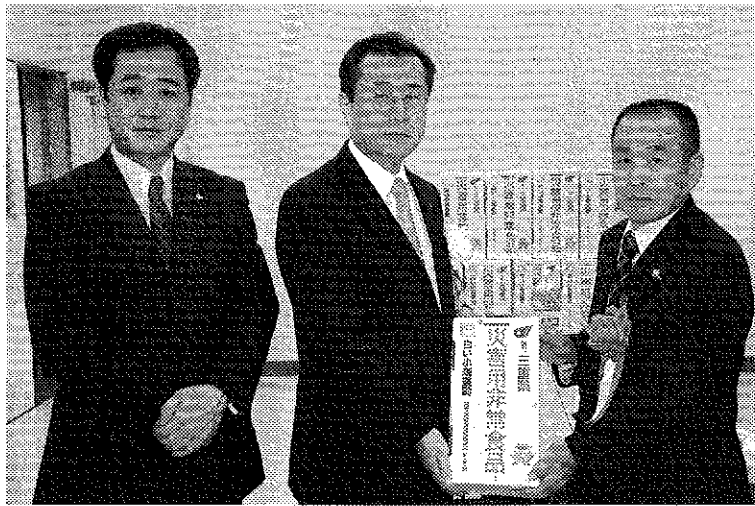
南 紀 新 報

災害用非常食を贈呈

「白い小箱」敬老会参加者へ

敬老会を前に、災害用物資「白い小箱」の贈呈式があり、古川町長が中門会長へ手渡しした。白い小箱運動を実施する一般社団法人日本非常食推進機構(JEFD)の古谷賢治代表理事が町に奇贈し、町から敬老会参加者に配られる。

JEFDが続ける災害用非常食個人備蓄推進運動の一環。「白い小箱」とは、アルファ米、アルミ防寒シート、ポケットティッシュといった一人一日分の食料、水などを一箱にセットしたもので、同団体では昨年十月から県内を中心に五千セットを無料配布した。



白い小箱の贈呈を受ける中門会長(右)

贈呈式で古川町長は、「防災意識を持ってもらおうと、ぜひ、この白い小箱を持ってもらいたい」と呼びかけ、中門会長は「町老連としても防災意識の向上に努めている。こ



の運動にも積極的に参加したい」と話していた。

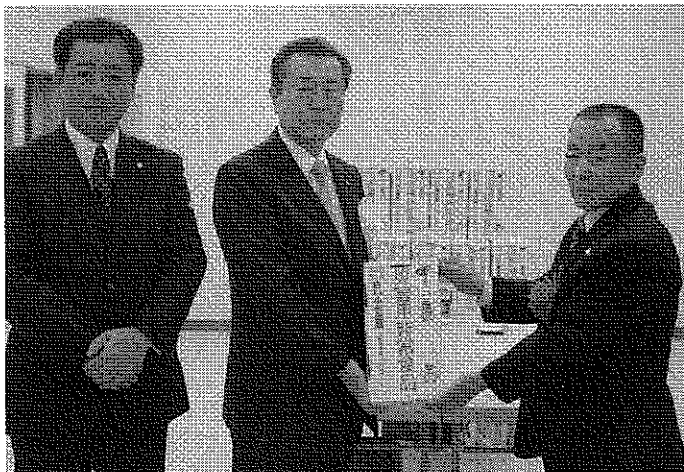
防災意識向上に一役

非常食推進機構 御浜町通じ災害物資寄贈

御浜町は17日、社団法人日本非常食推進機構から提供を受けて、敬老会に参加した町民に非常食など災害用物資が入った「白い小箱」を配布した。

同機構では自助、共助、公助連携で助け合いの社会創りを目指し「白い小箱運動」を展開。行政の支援を一切受けずに県内でのキャラバン活動を通じた小箱の無料配布を行い、住民らの危機意識向上や持続性を図っている。小箱には非常食やアルミ防寒シート、ブドウ糖、飲料水2リットル、尿取りパット、ポケットティッシュなどが入っている。

キャラバン隊の展開は今年22日から予定しているが、御浜町には敬老会に合わせ一足早く物資が寄贈された。同機構の古谷賢治



【中門会長(右)に災害物資を手渡す古川町長(中央)と古谷代表理事】

代表理事と、古川弘典御浜町長が中門丈夫町老連会長に小箱を贈呈した。

古川町長は「防災意識の向上に役立ちあがたい」と感謝の言葉。中門会長も「老連でも防災の意識向上に全力を傾けている。これからも積極的に活動したい」と謝辞を述べた。